

一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています

四日市萬古焼の現状と課題について

山崎 博 議員
(自由民主党)
四日市市選出



問 萬古焼の原材料であるペタライト鉱石は、電気自動車向けのリチウムイオン電池の原料となるなど、世界中で需要が高まり価格が高騰しています。陶磁器業界では、ペタライト鉱石に代わる新たな原材料の研究開発に取り組みますが、成分分析や検査試験の費用が重くのしかかっているようです。萬古焼陶磁器業界への支援について、県の考えをお聞かせください。

答 県は陶磁器業界とともにペタライト鉱石の使用量を低減させた試験用陶土を開発し、今後も早期の商品化に向けた技術支援に取り組みます。また、事業者による原材料確保のための取り組みへの支援を検討し、さらに、国には原材料の海外からの安定確保や産地支援の補助金の柔軟な運用などを要望してまいります。



萬古焼

その他の質問事項
○産業廃棄物不適正処理事業(大矢知・平津事案)に係る跡地利用について
○工業用LPGガスの価格高騰に対する支援について
ほかに



▲一般質問(山崎 博 議員)

関西本線の利用促進について

長田 隆尚 議員
(草莽)
亀山市選出



問 県はJR関西本線の潜在的な需要を把握するため、沿線地域とそれ以外の地域の間の移動の実態調査や、名古屋や奈良、大阪間の直通列車の需要の予測などのデータ分析を行う潜在需要調査事業を進めています。この事業の具体的な内容や、次のステップとなる潜在需要を掘り起こすための取り組みについて伺います。



JR東海 JR西日本 JR難波 加茂 亀山 名古屋

答 企業へのヒアリングや亀山市と伊賀市の全世帯を対象にした日常移動にかかる利用意向のアンケートなどを実施し、潜在需要を可能な限り「見える化」します。また、潜在需要を実際の利用につなげるためには、さまざまな課題の解決が必要であり、JR東海からの協力も得ながら、両市およびJR西日本と連携して取り組みの検討を進めます。

その他の質問事項
○リニア中央新幹線の早期全線開業に向けて
○生産性向上・業態転換支援補助金について
ほかに



▲一般質問(長田隆尚 議員)

学校以外の学びの場・居場所と不登校支援の充実

稲森 稔尚 議員
(草の根運動いが)
伊賀市選出



問 知事は9月にフリースクール「三重シユール」を初めて訪問していますが、現場の声を聴いたり子どもたちと触れ合ったりした中で、学校以外の学びの場・居場所の充実、特にフリースクールに対する財政支援や保護者に対する経済的な支援の必要性について、どのような認識を持ったのでしょうか。今後の取り組みを含めて知事の考えを伺います。

答 学校や家庭以外の子どもの居場所はとても大事だと思います。引きこもりは不登校から始まることもあり、不登校の支援としてフリースクールは皆ともいえる重要な役割を持っていて、これを活用し、国に支援の在り方を提案するとともに、財政支援の可能性を含めて、県として何ができるかを検討します。



知事の視察の様子

その他の質問事項
○不登校経験者に懸念もある「内申書」(調査書)は速やかに見直すべきではないか
○時代錯誤とならない三巡目の国民スポーツ大会(国体)のあり方について
ほかに



▲一般質問(稲森稔尚 議員)

①大矢知・平津事案にかかわる跡地利用の協議の進め方について

芳野 正英 議員
(新政みえ)
四日市市選出



問 大矢知・平津事案については、平成23年に地元2つの連合自治会、県、四日市市の四者で協定を結び、当該事業に係る跡地活用方法について十分に協議することとしています。対策工事が終わった今、地元自治会だけでなく土地の所有者等の関係者を含めた協議を早急に始めるべきだと思えます。県の考えをお聞かせください。



大矢知・平津事案 行政代執行後の全景

答 本事案については、識経験者、県、四日市市で構成する「四者協議」の場で協議を重ねてきました。跡地利用については土地所有者等のさまざまな課題があり、協議を進めたいと考えています。今年度から跡地利用に関する課題の共有や意見交換の時間を設け、しっかりと議論できるように、調整を進めます。

その他の質問事項
○次期国民スポーツ大会の開催について
○グレイゾー支援について
ほかに



▲一般質問(芳野正英 議員)

津駅前空間のビジョンや再編の現状と今後の進め方について

龍神 啓介 議員
(自由民主党)
津市選出



問 現在の津駅ができてから約半世紀が経過しています。令和2年に津駅周辺道路空間および道路整備の再編の検討が始まってから、さまざまな検討会や委員会が整備方針や方向性が策定されましたが、具体的なことが決まっています。整備の具体的なスケジュールやビジョンと、どこが主導して事業を進めるかについてお聞かせください。

答 津駅周辺のまちづくりは、国・県・市の三者で連携し、調査や社会実験を進めています。引き続き、社会実験の検証結果等を踏まえて「歩行空間の拡張」などの具体的な整備計画を含め、検討委員会で議論を重ねます。



津駅東口のにぎわい創出の社会実験

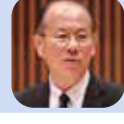
その他の質問事項
○行政手続等デジタル化の現状は
○支援する「スタートアップ」の範囲は
ほかに



▲一般質問(龍神啓介 議員)

県有施設駐車場のバリアフリー化と今後のユニバーサルデザインの進め方について

中瀬 信之 議員
(新政みえ)
度会郡選出



問 県は、バリアフリー化やユニバーサルデザインを率先して進める立場にあります。道路整備の車いす使用者用駐車場およびおもしろい駐車場には、そのすべてに雨天時に利用者が対応できる屋根を付ける必要があると思えます。県有施設における屋根付きの駐車場の整備状況を、ユニバーサルデザインを推進するための県の役割をお聞かせください。



県庁庁舎の車いす使用者用駐車場

答 県有施設のうち、車いす使用者用駐車場の割合は約35%に留まっており、特に不特定多数の方が利用する施設については、設置を進める必要があると考えています。県有施設のみならず社会全体で、だれもが利用しやすい施設整備が進むよう、周知啓発に取り組み、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進してまいります。

その他の質問事項
○G7三重・伊勢志摩交通大臣会合が三重県に与える影響について
○当県での国体・全国障害者スポーツ大会の開催について
ほかに



▲一般質問(中瀬信之 議員)

三瀬谷ダムの事前放流について

村林 聡 議員
(自由民主党)
度会郡選出



問 今年8月の台風第7号により、度会町では大きな被害が発生しました。三瀬谷ダムでは台風の前日に事前放流が実施されましたが、ダムの水位の変化はわずかなものだったようです。知事は台風被害の現地視察の際に、三瀬谷ダムの事前放流の在り方について検討する旨の発言をされましたが、現在の検討状況をお聞かせください。

答 県と国および中部電力の三者で治水協定を結んでおり、その協定に基づいて今回も事前放流が実施されました。今後、事前放流により確保できる貯水可能容量の増加などに向けて調整を進める予定です。なお、ダムの貯留機能には限界がありますので、耕地における貯留なども含めて議論し、浸水被害の減少に向けて取り組みます。



三瀬谷ダム

その他の質問事項
○人口減少対策方針と南伊勢町水産業後継者等育成事業について
○道路の草刈り年2回の拡充と張り出した樹木の対策について
ほかに



▲一般質問(村林 聡 議員)

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています